



# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 53

R2.1.21

## 今月のキーワード

言語活動を通した指導

English Forum 予定

新年を迎え、これから3月までの間は、学習の定着状況を確認したり振り返ったりする大切な時期になります。学年末までに身に付けさせたい力は、確実に身に付けることができそうか、日々の学習の振り返りと同時に、学習到達目標をもとにした達成状況の確認をお願いします。

## 子どもの「言いたい」「伝えたい」を引き出す（言語活動を通して）



次期学習指導要領では、「言語活動を通して」指導することが、重点の一つとなっています。「新学習指導要領全面実施に向けて 今、取り組みたいこと」（学校とICT/直山木綿子文科省初等中等教育局視学官著）の中には、授業の進め方について下図のように紹介されています。

### 進め方例

- ①指導者と児童で簡単なやり取り 話題の提供  
言い出し方の提供
- ②児童と児童でやり取り まずは、やらせてみる
- ③指導 ・言えなかったことを、既習表現に結び付けられるようヒントを出す  
・みんなでどう表現すればいいか考える
- ④相手を替えて児童と児童でやり取り 既習表現を活用させる



進め方例②の場面



進め方例④の場面

レストランで注文を取ったり注文をしたりする活動の様子（吉田西小）

ここでのポイントは③指導「言いたかったけれど、言えなかったこと」「どう言ってよいかわからなかったこと」を発表させ、学級のみんなで、どう言い表せばよいかを考える場面になります。

先日、吉田西小で We can ! 1 (Unit8) の授業に参加させていただく機会があり、「レストランで注文を取ったり、注文をしたりする」活動を、上記の進め方例に沿って行いました。

**進め方例②の場面**：基本表現を使って、レストランでのやりとりをペアで行います。

A: "What would you like?" B: "I'd like curry."

A: "Here you are." B: "Thank you."

**進め方例③の場面**：「おかわりという表現は?」「値段を聞く言い方は?」「辛いかどうか聞く表現は?」など、子どもが「言いたい」「伝えたい」と思う表現をクラスで共有し、表現の幅を広げました。

Second, please.

How much?

**進め方例④の場面**：再度、レストランでの会話場面を想定し、自由に会話を行います。

その際、③の場面で共有した表現を使って活動ができるよう促します。

例) A: "What would you like?" B: "I'd like curry. Hot?"

A: "Yes."

B: "Sweet, please."

A: "Sorry. One menu."



子どもの想像力は無限大で、自由に会話させると更に内容が膨らんでいきます。小・中学校ともに、子どもの「言いたい」「伝えたい」思いを大切にしたい（＝言語活動）授業を心掛けていきたいものです。





## Let's listen / Let's Watch and Think の活用（言語活動を通して）

Let's Try!や We can!には、英語の音声を聞いて、必要な情報を聞き取ったり概要を捉えたりする Let's listen や、聞き取った内容に関する質問に答えたりする Let's Watch and Think が設定されています。この使い方についても、デジタル教材をクリックして、“Let's listen and write your answers.”と指示を出すのではなく、**言語活動を通して指導すること**が求められています。

（学校と ICT/直山木綿子文科省初等中等教育局視学官著より引用）

例) クリックする前に・・・

誌面にあるイラストや写真について子どもとやり取りをして、  
**どのようなことが話されるのか予想したり、**  
**予想したことが合っているか確かめたりする**  
などの工夫をする。



### 言語活動を通して指導する（例）

- ・ 3人の登場人物の名前を確認する。What's her name?
- ・ 4つの作品について確認をする。

What's this? Flower? Yes, two flowers.

How many hearts in this flower?

**※今までに慣れ親しんだ語句や表現を使い、英語でのやり取りを充実させてから音声を聞かせましょう。**

### < 聞かせ方の工夫 >

- ・ No.1 から聞かせるのではなく、子どもにとって負担の少ないもの (black stars/ yellow star などが入っているもの) から聞かせる。
- ・ 3つの設問全てを聞かせるのではなく、2つに絞る。残りの1つは単元末や学年終了時に改めて聞かせ、単元を学習している時よりも聞く力が付いていることを実感させる。

## Shimotsuke English Forum の開催（2020年度）予定について

今年度初めて開催した English Forum ですが、来年度は小学生も参加対象とし、多くの皆様へ子どもたちの学習の成果を紹介していきたいと思っております。来年度の予定についてお知らせいたします。

	小学生	中学生
対象	5, 6年生 希望による* 1チーム（上限）	3年生 1チーム(上限2チーム)
テーマ	・授業で学習した内容の発表* 例) 6年 Lesson1 自己紹介* Lesson2 町の紹介 5年 Lesson1 * 好きなもの 等	・下野市の魅力を伝えよう* ・下野市をより魅力あるまちにするためのアイデアを発表しよう 等* 下野市に関わる内容で、自由にテーマは設定する。
発表方法	・プレゼンテーションソフト、* 模造紙、画用紙を活用	・プレゼンテーションソフト、* タブレット、書画カメラ、ビデオ等 ICT機器を活用
発表時間	1グループ 5分以内	1グループ 7分以内
発表人数	グループ（2～6人）	グループ（3～4人）
練習	夏休み中のALTとの練習日は特に設定しない。* (希望により調整可)	夏休み中のALTとの練習会は、* 7月下旬に調整し、3日間程度実施。

### 開催予定日

令和2年9月19日（土）午前



文責 学校教育課 稲葉亜希恵